

プログラム 第11回量子スピン系研究会

ver.20161128

日程:2016年12月2-3日 会場:福井大学遠赤外領域開発研究センター コロキウム室

12月2日(金)

番号	時間	タイトル(講演時間:分)	氏名(所属)	座長
2-0	13:00-13:05	あいさつ(5分)	光藤誠太郎(福井大遠赤外セ)	浅野貴行 (福井大工)
2-1	13:05-13:30	圧力下THz ESRによる量子スピンにおける圧力誘起現象の探索(招待講演)(25)	太田仁(神戸大分子フォトセ)	
2-2	13:30-13:50	Sr <sub>2</sub> CoGe <sub>2</sub> O <sub>7</sub> におけるパルス強磁場ESR測定(20)	赤木暢(阪大先端強磁場)	
2-3	13:50-14:10	量子スピン鎖 K <sub>2</sub> CuCl <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> ・K <sub>2</sub> Cu <sub>3</sub> O(SO <sub>4</sub> ) <sub>3</sub> の磁性(20)	藤原理賀(東理大理)	
2-4	14:10-14:30	歪んだダイヤモンド型スピン鎖の歪みパターンと磁化プラトー(20)	岡本清美(芝浦工大)	
2-5	14:30-14:50	スピンマティック相の検出のための電子スピン共鳴理論(20)	古谷峻介(理研)	鳴海康雄 (阪大先端強磁場)
	14:50-15:00	休憩(10分)		
2-6	15:00-15:25	ガウスカーネル法を用いた新たな物理量測定スキーム(招待講演)(25)	中村統太(芝浦工大)	
2-7	15:25-15:45	脚相互作用が異なった異方的 S=1/2 2本脚ラダーの基底状態相図(20)	利根川孝(神戸大名誉教授、阪大大理)	
2-8	15:45-16:05	XYZスピン鎖におけるマヨラナ・フェルミオンとトポロジカル転移(20)	杉本貴則(東理大理)	
2-9	16:05-16:25	オプトメカニクスを利用した磁気共鳴信号の光変換(20)	武田和行(京大理)	
2-10	16:25-16:45	bilayer Mott電子系を有する分子性結晶の構造と磁性(20)	草本哲郎(東大院理)	
2-11	16:45-17:10	一次元フラストレート量子スピン系におけるカイラリティ・スピン多極子秩序(招待講演)(25)	引原俊哉(群馬大理工)	

17:20出発

12月3日(土)

番号	時間	タイトル(講演時間:分)	氏名(所属)	座長
3-1	09:00-09:25	量子スピン系研究のための極低温パルス強磁場開発(招待講演)(25)	野口悟(阪府大工、大阪府大N2RCB)	轟木義一 (千葉工大)
3-2	09:25-09:45	一次元反強磁性体KCuMoO <sub>4</sub> (OH)における異方的な磁場誘起ギャップ(20)	那波和宏(東北大多元研)	
3-3	09:45-10:05	フラストレート量子スピン鎖のスピン伝導と熱伝導(20)	大西弘明(原子力機構先端研)	
3-4	10:05-10:25	結合スピントラップとCuboc秩序(20)	奥西巧一(新潟大理)	
	10:25-10:40	休憩(15分)		引原俊哉 (群馬大理工)
3-5	10:40-11:05	光で磁石を操る方法~光でスピンを"ひねる" & 光をスピんに"転写"する~(招待講演)(25)	佐藤正寛(茨大理)	
3-6	11:05-11:25	スピン1/2三角格子Heisenberg反強磁性体の磁気励起(20)	田中秀数(東工大院理)	
3-7	11:25-11:45	三角格子反強磁性体CuFeO <sub>2</sub> のスピン・軌道・電荷状態(20)	鳴海康雄(阪大先端強磁場)	
3-8	11:45-12:05	反強磁性カイラル正四角台塔系 Ba(TiO)Cu <sub>4</sub> (PO <sub>4</sub> ) <sub>4</sub> の磁化曲線と電気磁気転移(20)	加藤康之(東大院工)	
3-9	12:05-12:25	ferroelectricity in emergent spin-1 frustrated Haldane ladder Rb <sub>2</sub> Cu <sub>2</sub> Mo <sub>3</sub> O <sub>12</sub> (20)	小野田繁樹(理研)	
	12:25-12:30	会計報告(5)	藤井裕(福井大遠赤セ)	
	12:30-13:30	昼食(60分) ※進行によっては以降繰り下げの可能性あり		
3-10	13:30-13:55	擬二次元三角格子反強磁性体Rb <sub>1-x</sub> K <sub>x</sub> (MoO <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> の強磁場磁性(招待講演)(25)	萩原政幸(阪大先端強磁場)	
3-11	13:55-14:15	1次元反強磁性体D-F5PNNIにおける1次のスピン・パイエルズ転移(20)	稲垣祐次(九大院工)	
3-12	14:15-14:35	スピントロニクスから見たY <sub>3</sub> Fe <sub>5</sub> O <sub>12</sub> のスピン波(20)	社本真一(原子力機構先端基礎研)	稲垣祐次 (九大院工)
3-13	14:35-14:55	Lieb-Schultz-Mattisの定理とひねり境界条件(20)	野村清英(九大院理)	
3-14	14:55-15:15	大規模数値対角化によるフラストレーション系の研究(20)	坂井徹(兵県大物質理)	
3-15	15:15-15:35	頂点共有・稜共有三角形をもつMKS格子反強磁性体 K <sub>2</sub> Mn <sub>3</sub> (OH) <sub>2</sub> (VO <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> のESR測定(20)	大久保晋(神戸大分子フォトセ)	
3-16	15:35-15:55	二次元三角格子磁性体Cu <sub>2</sub> (OH) <sub>3</sub> NO <sub>3</sub> の磁気秩序と強磁場磁化(20)	藤井裕(福井大遠赤セ)	